

8 みづほだより 9

社会福祉法人慈雲福祉会

ワエルコートみづほ・コムネックスみづほ・みづほ保育園

8・9月号 Vol.9 No.3 2004

中嶋 登茂美

“地 蔵”

(コムネックスみづほ所蔵)



作品を製作するにあたり、私には二つの思いがあります。それは子供の思いと親の思いです。昔、子供でした。そして今自分の中に永遠の子供への憧れが住んでいます。そして親として全く無条件でひたすら子供を愛せる幸せを発見しました。

子供が元気でいてくれれば、私も生きる勇気が湧いてくる。それを石という半永久的に残る自然の贈り物の中に彫刻しつづけていたいと思っています。 ～作者より～

愛知県岡崎市生まれ

第2回現代日本具象彫刻展大賞受賞
個展多数

◆理事長通信◆

暑中お見舞い申し上げます

関東では、日中最高気温40度超、夜間の最低気温30度と気象庁始まって以来、記録更新だそうです。こんな暑い暑い毎日ですが、みづほ保育園では待ちに待ったプール開き、水をかけ合う子供たちの元気な声が響いていますし、蝉を追ってタモを振りかざす真剣な姿が見られるのも夏ならではの情景。そうそう、思い出しました。昆虫博士の名和先生が「タモを持って昆虫を探るのは真剣勝負だ。昆虫も命がけだからね。」とおっしゃった。本当にそうですね。昆虫を追い回す子供の目はやはり真剣そのもの。桜の木の幹から「ちっ」と鳴いて逃げ行く蝉を悔しそうに見送る男の子。「逃げられた～」

大人が忘れてしまった大切なものが、子供たちの純粋な姿の中に見られます。いつまで見ても見飽きることのない、心穏やかときです。夏っていいな。

理事長代行 林 倫子



